

磐梯山の火山活動解説資料（令和3年3月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～図6、図7-①）

剣ヶ峰監視カメラによる観測では、山体北側火口壁の噴気の高さは50m以下で経過しました。櫛ヶ峰監視カメラによる観測では、沼ノ平で噴気は認められませんでした。今期間、噴気活動に特段の変化はみられず低調に経過しました。沼ノ平の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

8日に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、これまでの観測と比較して、沼ノ平噴気地帯及び山体北側火口壁噴気地帯の噴気と地熱域に特段の変化は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図7-②～⑦）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図7-⑧、図8、図10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_vact_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和3年4月分）は令和3年5月13日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

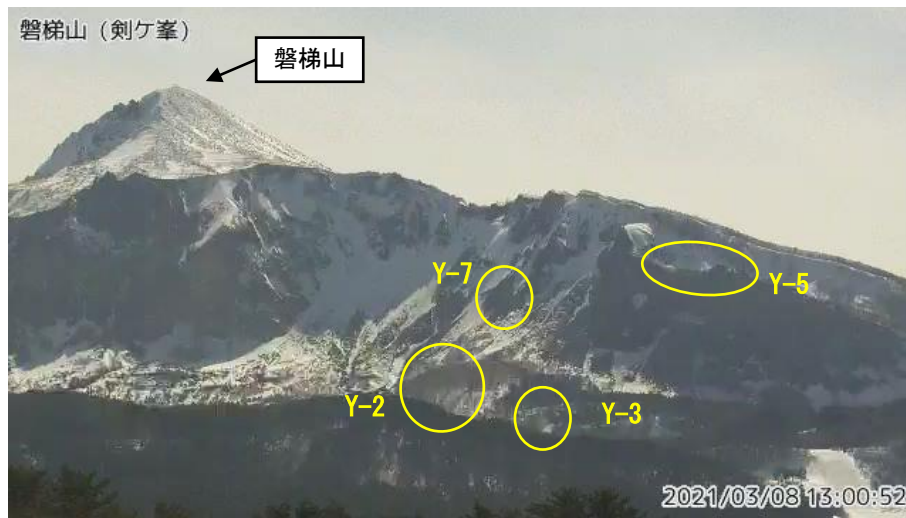


図1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状態（3月8日）

・剣ヶ峰監視カメラ（山頂の北約7km）の映像です。

噴気の高さは50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

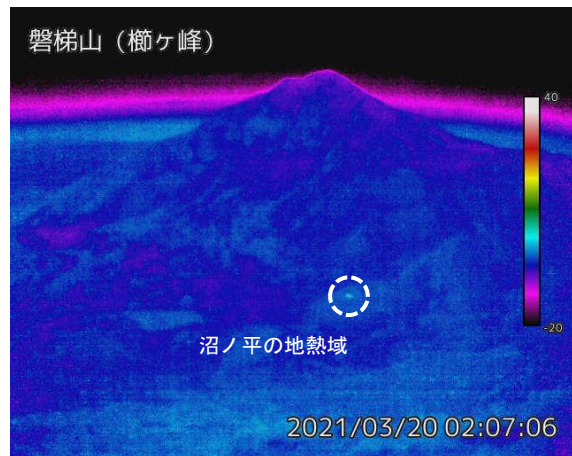


図2 磐梯山 沼ノ平周辺の状況と地表面温度分布（3月20日）

・櫛ヶ峰監視カメラ（沼ノ平の北東約600m）の映像です。

沼ノ平（赤丸）で噴気は認められませんでした。

また、沼ノ平の地熱域（白破線）に特段の変化は認められませんでした。

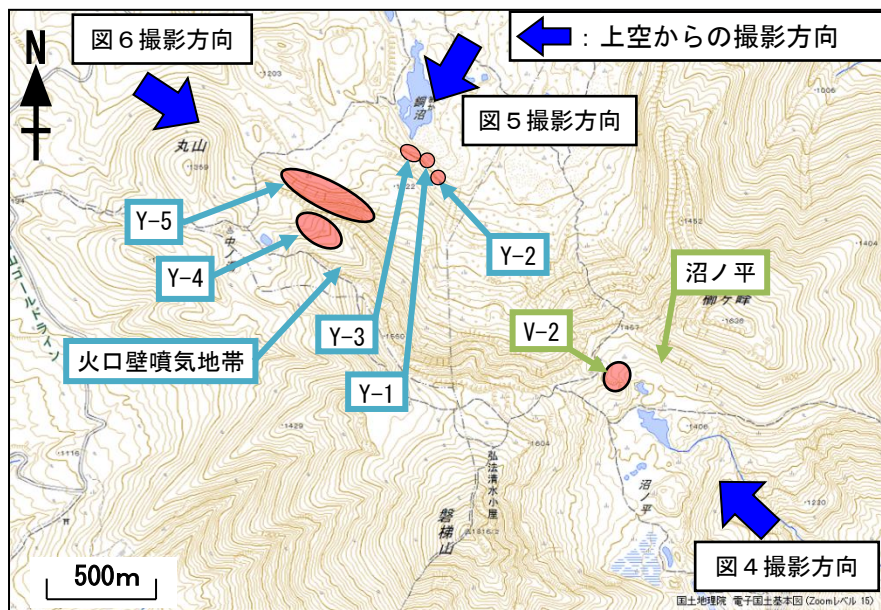


図3 磐梯山 噴気地熱域の分布及び上空からの写真と地表面温度分布撮影方向

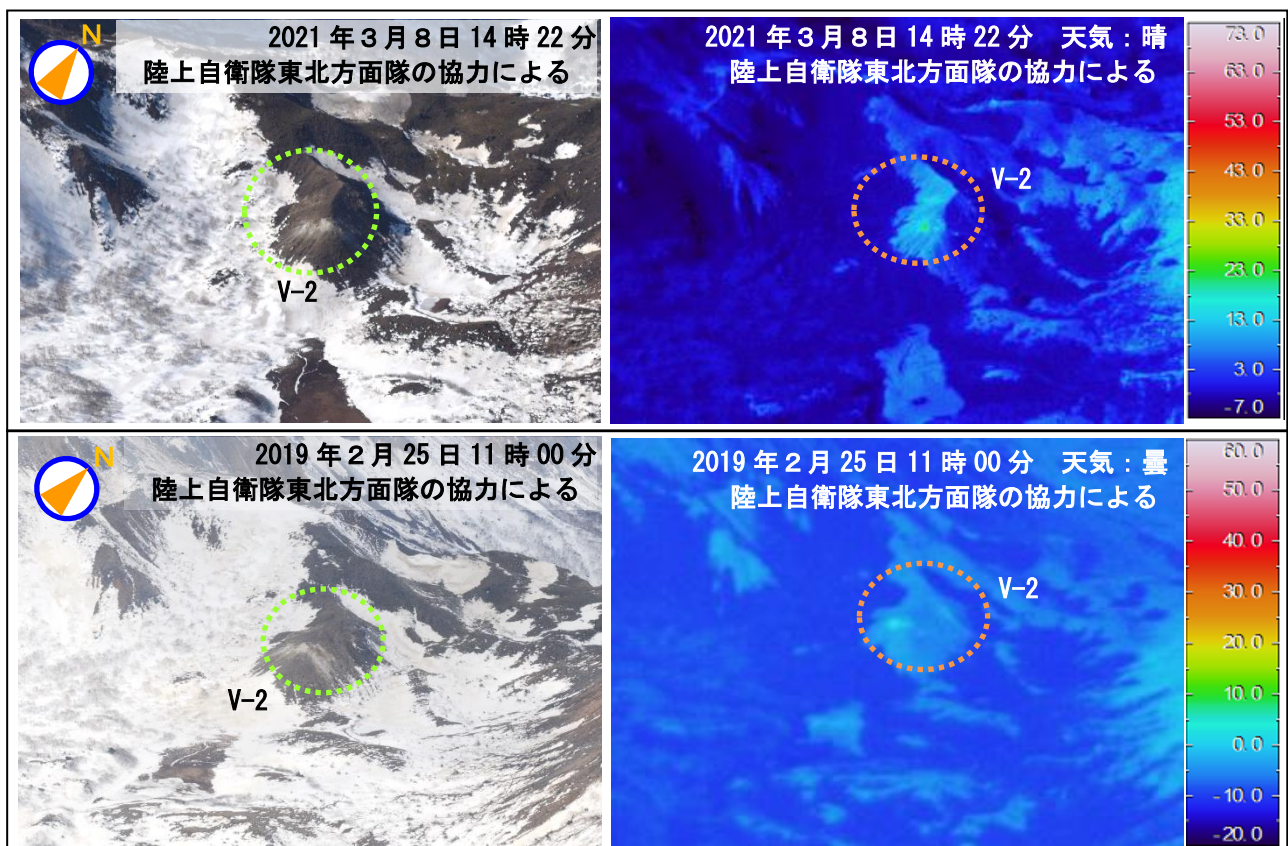


図4 磐梯山 上空から撮影した沼ノ平噴気地帯(V-2)の状況と地表面温度分布

※地熱域以外の温度の高い部分は日射による影響と推定されます。

噴気は確認されず、地熱域（破線）の状況に特段の変化は認められませんでした。

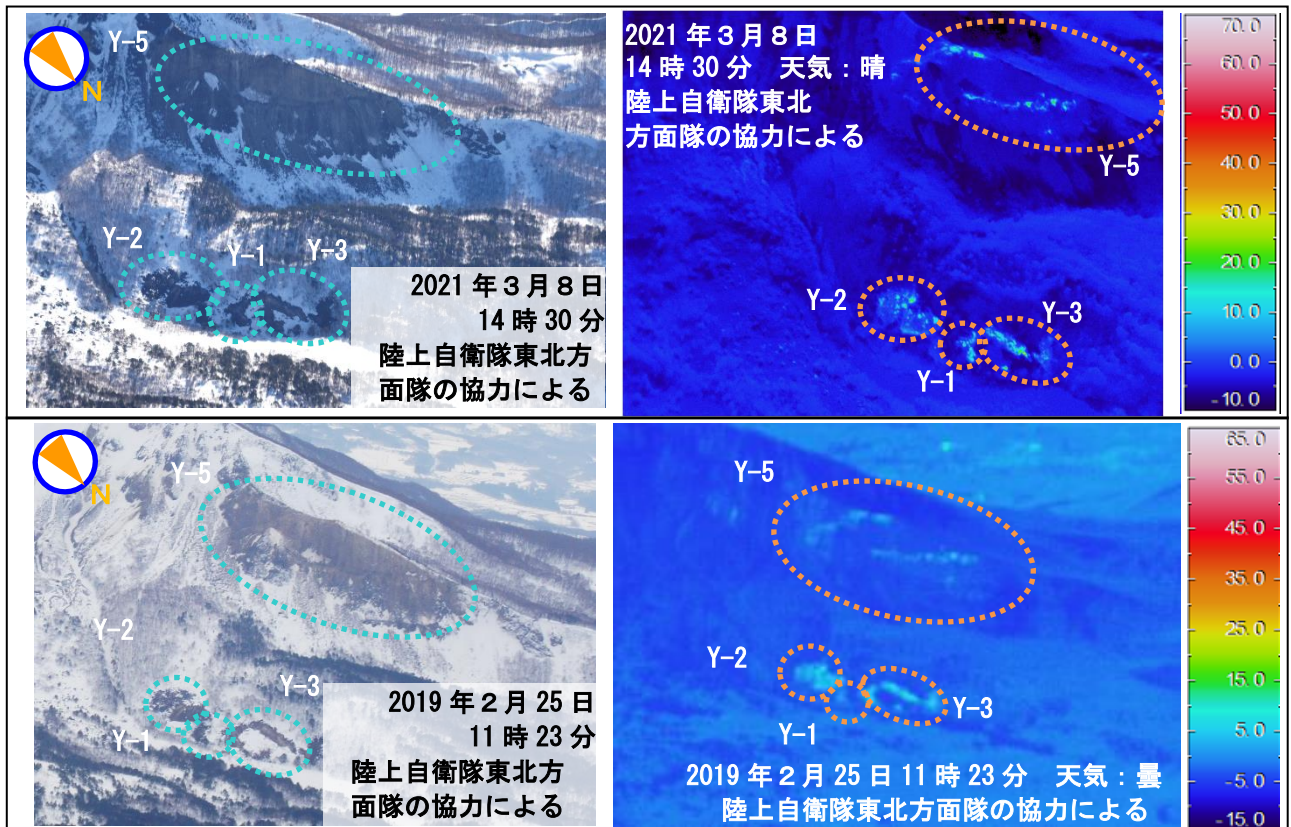


図5 磐梯山 上空から撮影した火口壁噴気地帯（Y-1、2、3、5）の状況と地表面温度分布
※地熱域以外の温度の高い部分は日射による影響と推定されます。
噴気及び地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

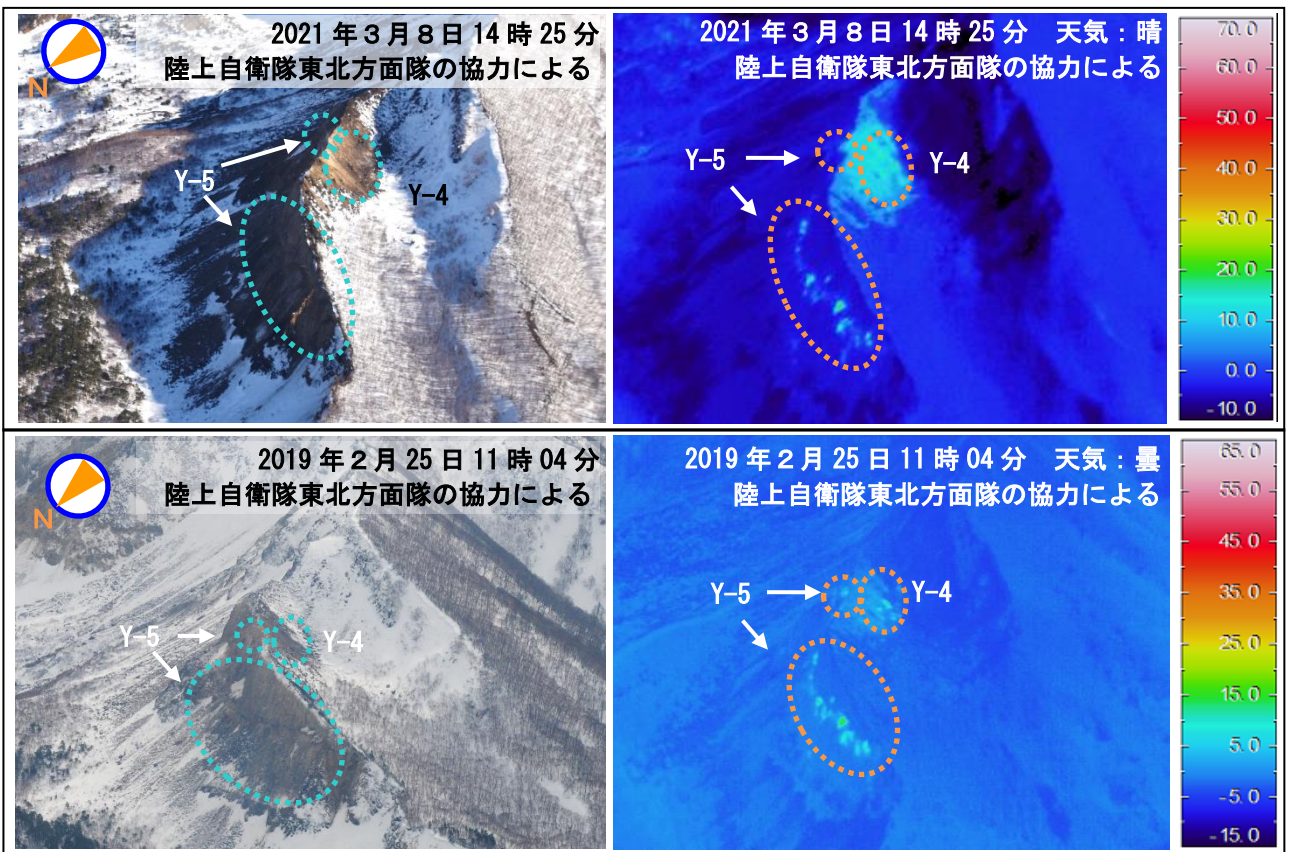


図6 磐梯山 上空から撮影した火口壁噴気地帯（Y-4、5）の状況と地表面温度分布
※地熱域以外の温度の高い部分は日射による影響と推定されます。
噴気は確認されず、地熱域（破線）の状況に特段の変化は認められませんでした。

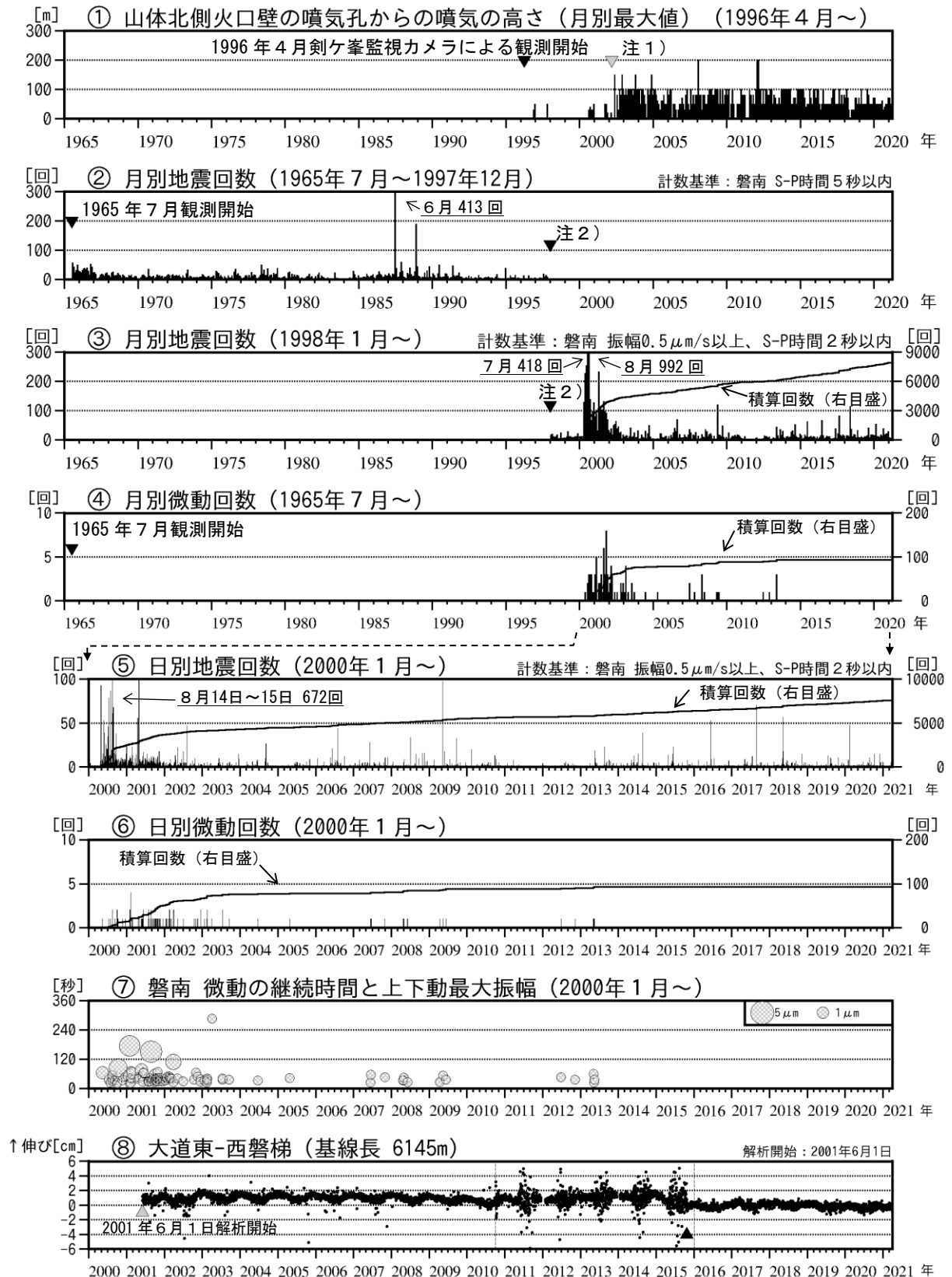


図7 磐梯山 火山活動経過図（1965年7月～2021年3月）

- ・⑧は図10のGNSS基線⑥に対応しています。
- ・2010年10月及び2016年1月に、解析方法を変更しています（⑧）。
- ・注1）2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以後は24時間観測による高さです。
- ・注2）1998年より計数基準をS-P時間5秒以内からS-P時間2秒以内に変更しました。
- ▲：大道東観測点及び西磐梯観測点の機器更新及び移設を行いました（⑧）。

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。

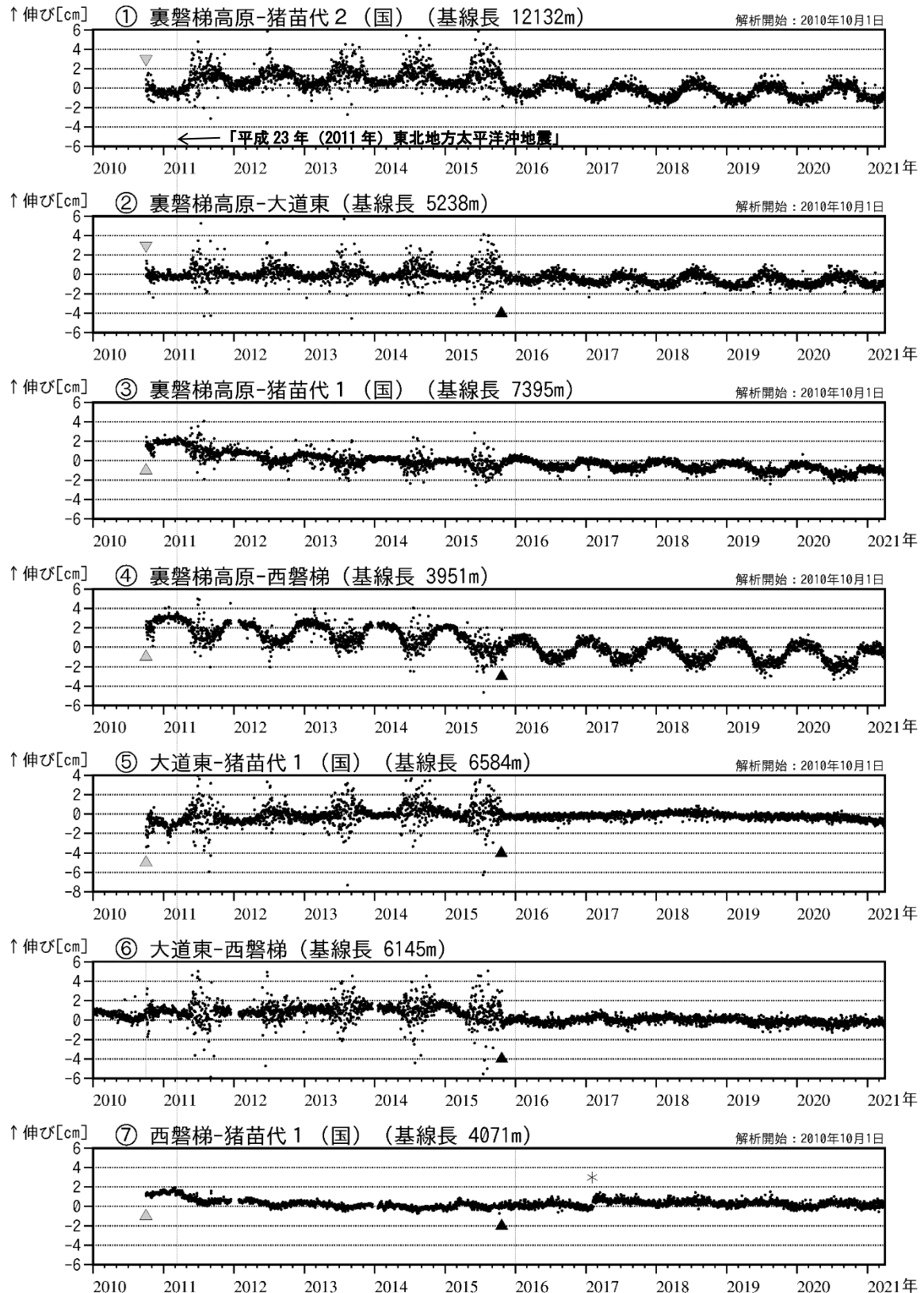


図8 磐梯山 GNSS 基線長変化図 (2010年1月～2021年3月)

- ・2010年10月及び2016年1月に、解析方法を変更しています。
- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑦は図10のGNSS基線①～⑦に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。
- ▲：大道東観測点及び西磐梯観測点の機器更新及び移設を行いました。
- ▼▲：解析開始を示します。
- *：西磐梯観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

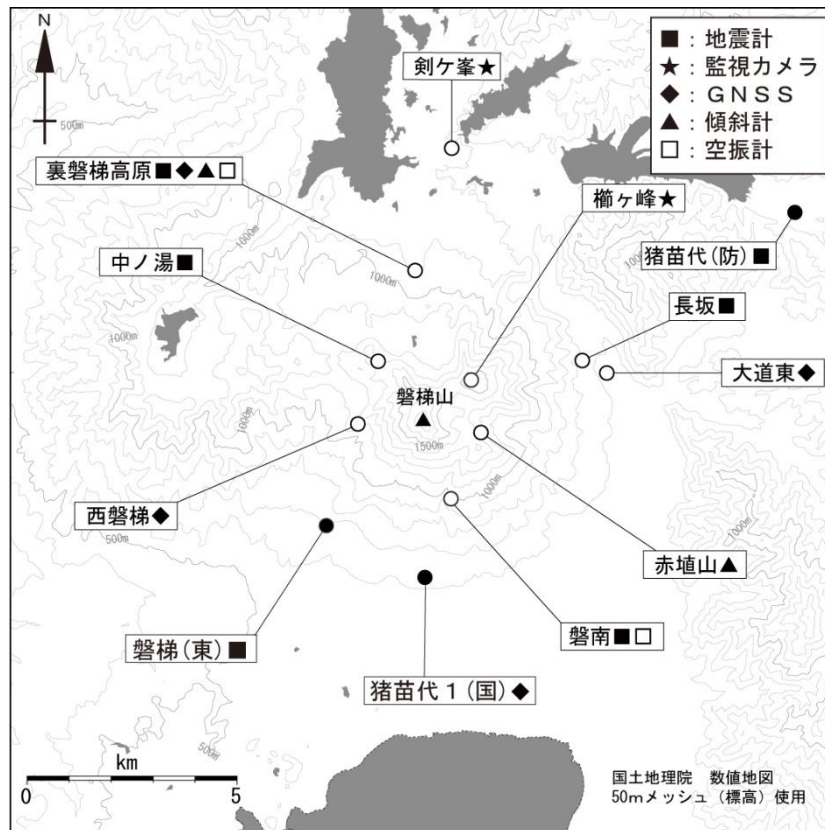


図9 磐梯山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

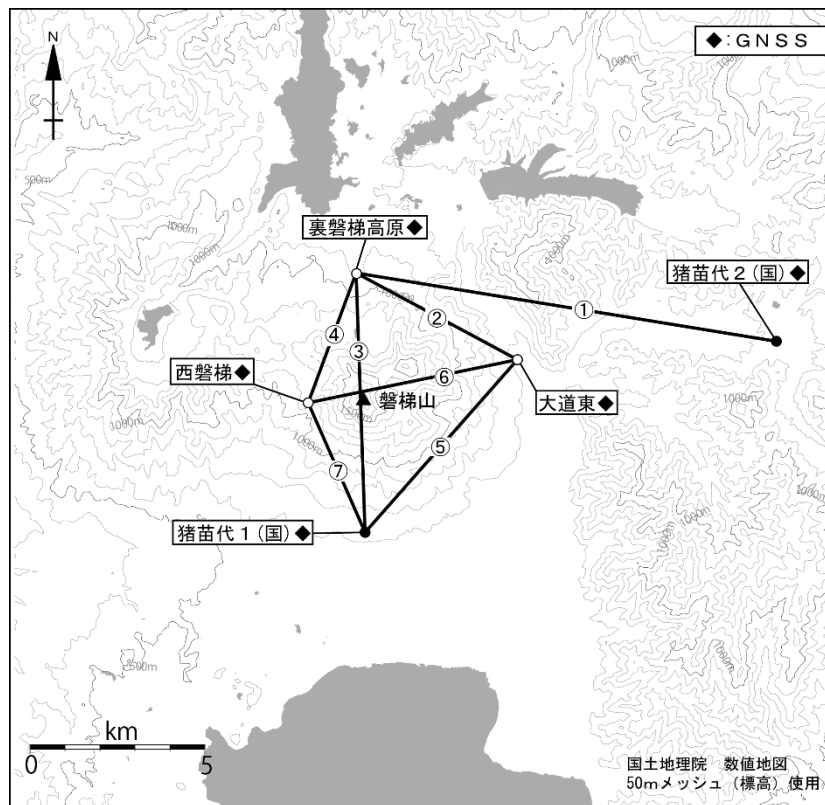


図10 磐梯山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院